

ひろがり

No.19

発行日／2020.7.31

発行者／佐高在仙同窓会広報誌委員会

建設中の新体育館（資料／本校同窓会事務局）

今年度の総会
開催中止のお知らせ

会長 羽生 正弘

新型コロナウイルスの予測不能な感染リスクに鑑み、過日開催された常任幹事会議で今年度総会開催を中止させていただくことが決議されました。事業・会計・監査の各報告及び令和二年度の事業計画・予算に關しましては、来年度開催の総会におきまして、会員皆様のご判断を仰ぎたいと存じます。

会員皆様には出口の見えない不安な生活が続きますがご自愛くださいますよう。

コロナ禍の中で

佐沼高校校長 狩野 秀之



在仙同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に様々な形でご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

お蔭様で本校も創立百十八年になりました。さて、申し遅れましたが、この四月に栄

えある佐沼高校に赴任いたしました校長の狩野秀之と申します。どうぞよろしくお願いたします。

昨年度の在校生は校是「文武両道」を胸に日々の学校生活に自分自身の志を達成すべく真摯に取り組み、進学では東北大学を含む国公立三十三名、私立四年大学百八十二名、短大十七名、公務員十三名、民間十一名の合格の実績を残しました。

令和二年度を迎え、在校生は全日制六九七名（一学年六年级）定時制三三名でスタートしましたが、コロナウイルスの感染拡大を受けて入学式と始業式はかろうじて実施したものの、臨時休校期間が延長され、この六月一日から再開となったばかりです。学校生活の再開の初日、やはり生徒の目は輝いていました。

しかし、コロナウイルスはなくなったわけではありません。感染予防学習を実施し、マスクをした状態での授業再開です。学校現場では三密を防ぐことは容易ではありません。また、七月いっぱい授業を行います。冷房のない本校にとってこの夏は暑さを是非とも避けたいわけですが、自然は願いを聞いてくれるでしょうか。

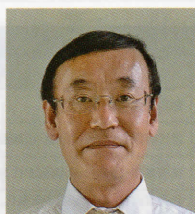
限られた条件の中、生徒の安心安全と学びの保証を両立させるといふ難しい舵取りが迫られるこの一年は、自然の中でいかにして人間が生きていくのかを模索する年度となります。

最後になりましたが、新体育館の建設に加え、新校舎の建設にむけた準備が始動いたします。

コロナ禍の中、工夫を試み教職員一丸となつて子供たちの未来作りのために取り組んで参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新事務局長挨拶

同窓会事務局長 佐藤 和典



この春の人事異動で石巻北高校から来ました佐藤和典です。私自身も佐沼高校の卒業生で、

三十三回生となります。在学中は登米町から通学していました。

さて、今年度は新型コロナウイルス流行の影響で、学校の教育活動が様々な制約のもとに行われています。同窓会活動においても、総会が中止になるなど、大きな影響を受けています。何かと難しい局面ではありますが、同窓生の皆様の協力を得て乗り越えていきたいと思います。

末筆になりますが、在仙同窓会の益々の発展を祈念いたします。

今年度総会開催中止に！
広報誌ひろがりは継続

佐沼高校在仙同窓会会長 羽生 正弘



世界最大のスポーツの祭典、東京オリンピックが延期され、晴れ晴れとした二〇二〇年のはずが

一転、新型コロナウイルスの影響により、日を追う毎に感染リスクの不安を感じる息苦しい年となってしまいました。

こうした昨今ですが在仙同窓会会員皆様におかれましては、まずはご健勝にお過ごしのことと存じます。

さて、本年度はかかる状況に鑑み、在仙同窓会総会を中止することを決定いたしました。しかし、東日本大震災の年に同窓の絆を大切にすべく発刊された広報誌「ひろがり」は、在仙同窓会の気概ある活動として広報誌委員会の皆さんの努力で継続発行して頂きました。感謝に堪えない次第です。

こんなに簡単に日常の普通の暮らしが崩壊してしまう、そして目に見えず忍び寄るウイルス感染の怖さ。先史の疫病同様のことが、医科学の発達した今日、世界的に人類の脅威となる年になってしまいました。様々な報道から改めて世界の広さ、国力の違い、貧困など、暮らしの実態と感染の相

たと思っている次第です。

仕事柄、経済への甚大な影響も非常に心配で、報道記事が他人事と思えない現実となっています。

母校におきましては入学式、始業式は放送のみで行ったと聞いております。小刻みに休校が延長される中、万一の感染に備えた対応、生徒への学習課題、授業の遅れ対策等、先生方には過大な負担がかかっていることと察します。もちろん受験を控えた三年生を始め生徒諸君も不安と戸惑いの日を送っていると思います。

本年度は何よりもこうした感染リスクに冷静に立ち向かいつつ、私達の暮らしが普通の日常に戻るよう専念すべき年と存じます。

新型コロナウイルスの第二波も非常に心配されるところであり、会員皆様一層ご自愛いただきますようにご祈念申し上げ、来年の総会で元氣にお会いしたく存じます。

校訓

「献身・窮理・力行」の三徳を「至誠」をもって貫く

校是

「文武両道」

令和元年度 佐沼高等学校在仙同窓会事業報告及び決算報告

1	収入合計	1,388,706 円
2	支出合計	1,193,175 円
3	差引残高	195,531 円（次年度繰越）

(単位：円)

収入の部				摘要
科目	予算額	決算額	差異	
年度繰越金	252,204	252,204	0	
会費	400,000	392,000	▲ 8,000	2,000円×196人
会費	480,000	521,000	41,000	男5,000円×85人(+5人) 女4,000円×24人(+4人)
事会費	80,000	110,000	30,000	常任幹事会費(16人)、期別幹事会費(21人)、 広報委員会費(9人×2回)、各会費2,000円
告収入	100,000	90,000	▲ 10,000	広告掲載料(4社)
収入	20,796	23,502	2,706	預金利息、御祝儀等
計	1,333,000	1,388,706	55,706	

(単位：円)

支出の部				摘要
科目	予算額	決算額	差異	
会費用	600,000	562,680	△ 37,320	懇親会費、講演謝礼
議費	120,000	162,719	42,719	常任幹事会・期別幹事会・広報委員会
報誌発行	180,000	155,947	△ 24,053	原稿制作・編集代、印刷製本代等
紙文具・通信費	170,000	173,348	3,348	総会案内状、振込用紙等印刷代、切手・葉書代、 封筒代、後納郵便代等
付金	100,000	100,000	0	母校への運動部助成金
成金	20,000	0	△ 20,000	
外費	50,000	30,000	△ 20,000	母校同窓会祝儀、佐藤達雄渡仏50周年祝賀会花代、 県警プラタナス会祝儀
費	10,000	8,481	△ 1,519	割賦収納委託手数料
備費	83,000	0	△ 83,000	
計	1,333,000	1,193,175	△ 139,825	

令和二年六月三十日午後六時三十分より在仙同窓会事務局（ホットハウス内）において常任幹事会が開催されました。コロナ禍の影響で、今年の総会は残念ながら中止と決議されました。また、令和元年度（平成三十一年四月一日）令和

二年三月三十一日）の事業報告と決算報告がなされ承認をいただきました。会員の皆様には来年開催の総会において令和二年度の事業計画、予算につきましてお認め頂きたく存じます。（詳細は左記の資料をご覧ください。在仙同窓会事務局）

第40回県警プラタナス会 総会を開催

佐藤 則夫（高27回生）

去る、令和二年一月十八日（土）青葉区上杉パレス宮城野において、第四十回県警プラタナス会総会・懇親会が盛大に開催されました。

「県警プラタナス会」は宮城県警察に勤務する佐沼高校卒業生の会であり、現在、佐藤孝治警備部長が会長を務め、会員数は九十六名です。

県警プラタナス会の総会・懇親会は毎年この時期に開催しており、今回で四十回目を迎える大変歴史ある会です。

今回の懇親会には、県警OBの同窓生の会である「県警プラタナスOB会（四十名）」から鮫名会長（在仙同窓会副会長）はじめ二十名のOBも参加して合同の大懇親会となりました。

また、在仙同窓会からは、羽生会長が来賓として出席しました。

懇親会では、佐藤会長が「佐沼高校同窓生の絆を深めながら県内の安全・安心を守っていききたい。」旨挨拶をした後、来賓祝辞では羽生会長が「県内の治安維持のための活動に感謝しているほか、今後の活動に期待しております。」旨のメールを送りました。

その後、懇親会に入りましたが、今回の懇親会は、県警の現職と県警OB合同とい

うこともあり、例年以上の盛り上がりを見て、盛会のうちに終了しました。



参加者全員で記念撮影



佐沼高校 校章

母校通信

佐沼高校同窓会事務局 佐藤和典（高33回生）



建設中の新体育館（資料／本校同窓会事務局）

在仙同窓会の皆様には日頃より温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

今年度の

学校の様子

は、ご存じのように新型コロナウイルスの影響で五月一杯まで臨時休校で、六月に入ってから学校再開となりました。再開してからは、生徒も教員も共に毎日元気に授業に部活動にと取り組んでいます。

さて、現在第一体育館の新築工事が行われています。既存のテニスコートと合宿所が解体され、その跡地に体育館が建設されます。建物の概要としては、鉄骨造り二階建て、延べ床面積一八九四平方メートルとなります。これは、バスケットボールのフルコートが二面分の広さで、床面積は現在の第一体育館とほぼ同等です。ランニングが可能なギャラリも出来ます。体育館外側の軒下には、陸上のトラックで使われているような材質



建設中の新体育館（資料／本校同窓会事務局）

のものが敷かれ、雨の日でも運動部の練習が出来る設備となっています。工事の進捗状況は、新型コロナウイルスの影響もあり遅れ気味に進んでいて、五月末時点で二十％程度となっています。完成予定は、来年の五月となっています。その後、現在の第一体育館の解体工事となる予定です。

また、新校舎建設については、来年度から設計に入る予定ではありますが、宮城県の財政状況により、遅れる事になるかもしれません。

今振り返る、懐かしの高校時代、故郷にかける想い。

新型コロナウイルス感染が心配されるなか、六月十八日、今年の総会担当幹事の三十一回生三人が集まり、近況や高校時代の思い出、故郷への思いを語ってもらった。(敬称略)。

自己紹介と近況報告をお願いします

男澤亨・株式会社あるく

佐沼中出身、高校まで歩いて十五分、なぜか自転車通学、部活は吹奏楽でした。コロナは大変で、私は少ない業界だと思いましたが、それでも色んな事で振り回されました。個人的には、合唱の代表をやっていた。七十人の合唱、「危険の最たるもの」で、三か月間休んで、ようやく十人ずつまとまって練習を再開したところです。

亀井広尚・大成温調株式会社

南方中出身で、東北工大を卒業、今の会社におります。部活はハンドボール、一年上の先輩が作ったクラブで、我々二代目でインターハイとかその近くまでの成績を収められ、やはり一番「絆」が強いのが部活のメンバーかなと思っています。部活でマネージャーをやってくれた今の妻と…(オオー)。還暦の誕生日に、ゆっくりこもって過ごそうと蔵王の温泉を予約したのですがキャンセルされ、いろいろ計画したのですが皆だめで、七月になったら大丈夫かな

と、予定していた蔵王を改めて取ったところです。会社はお陰様で、誰も感染者もなく、最初の一人にならないようにと、そんな気持ちでいます。

佐々木淳・NECネットイノベーション株式会社

出身は南方中で、学院大の今はない「応用物理学科」に行つて、本来なら教員とかなんだろうが、どう変わったのか今の会社に行つて、システムを提供する営業をしています。コロナはうちの会社ではテレワークのインフラが既に出来上がつていて、コロナが出た時点で在宅勤務という形で、ほとんど在宅と出勤とを併用していて、今でも私は併用しております。部活は亀井さんと同じハンドボール。総合運動部ハンドボール班だったのが僕らの時代に部に昇格した。県大会は決勝で負けて二位、いい線までいった。仕事でたまたま行つた会社に同級生の女の子がいて、今回、「こういうの(座談会)あるからどう?」と言ったのですが、「えー!」とか、言われてしまつて。

同窓生などお会いする機会は?

男澤…今回、人を集めると言われ、定期的に会っているこの五人グループ、まずそこに声をかけました。そのうち二人が来れず。やっぱり女子が必要だと四人に声を掛けただんですが全滅。私の不徳の致すところ

です。(ちなみに誰? 新田さん、熊合さん、渡辺さん、末永さん、男は富士原君、菅原君。)



男澤 亨さん

亀井…同窓生との付き合いというと、大学

時代は部活の流れみたいなのがあつて、後輩に教えに行ったり、試合したりと、部活の人間との付き合いが多かった。ただやっぱり、就職とか結婚で、それが続かなくなつていった。この五人は、何がきっかけだったのかは忘れてしまいました。もう震災前から十四、十五年?。もう、よく飽きもせず毎回五人で、年に二回か三回、飲み会、必ずやっています。一人は東京から来るんです。



亀井 広尚さん



佐々木 淳さん

男澤…私は人脈が多いように見えますが、高校の付き合いはそんなにないですよ。でもたまたま、仕事で一緒になったりすると、「佐沼高校? オー!」となる。この間も飲み会で偶然会つたのが、「あー登米なの、ふー」で、だんだん話をしていたら「なんだべー、なにすや」と、すごく親しくなるね。

高校の時の思い出は?

男澤…吹奏楽です。いま七十歳位の代で、東北大会に二年続けて行つた黄金期があつて、そこからしばらくして、我々の年によく東北大会に行く事ができた。先輩たちの時は、男がほとんどで、我々の時は二一で女の方が多い、そんな構成でした。一番大切にしたのはチームワーク。先生に言われたんですが、「あなた達の学年で初めて、男女がうまくかみ合ったよね」と、それが最高の褒め言葉でした。顧問は、亘理先生。二十四か二十五で来た若い先生。当時は部の先輩で先生にあこがれた人もいたらしい。

亀井…創部から始まって、顧問の遠藤先生も全然素人でも何もわかんなくて。いろんな講習会があれば、その度に連れていかれて。帰ってきてそれを伝えると、皆がすごく真面目にやってくれる。みな食欲だったね。三年の時に尾形先生というバスケットの先



生から、いろんなテクニクを教えてもらって、それからまた一段、ぐんと良くなった気がした。本当に練習はしたね。何もわかんないから走ってばかりいた。

男澤..なんでそもそも、ハンドボールに入つたの？

佐々木..俺は、応援練習がいやだった。応援がすごくいやで。

男澤..あれほど人生で緊張したことはなかったね。「おつかね」。なんぼ高校一年生の坊主でも、なんであんなに「おつかねがった」のか、よくわかんないけどね。昔、漫画あつたじゃないですか、「花の応援団」、あんなイメージですね。

佐々木..やつぱり、中学生と高校生じやちがいますね。

男澤..応援も厳しかったけど、廊下の階段上がると、ある先輩から「おはようございま

す、おはようございます、おはようございます！」と声を掛けられた。あれはあれで挨拶の訓練にはなった。自然に声が出るようになって。あんな経験は、なかなかない。一生に一度の経験。「おつす、オッス」

亀井..ところで、不思議なのは修学旅行がなかったよね。クラス単位で、自分達で企画して別々に行つた。

(三年前の先輩達の時、「なんか？」があつたみたい)

男澤..二年生の時に自分らで企画して、十和田湖とか田沢湖とか。バス旅行でした。どうしても皆、北の方に行くので、バスですれ違つたりする。隣の組が隣の旅館にいたりで、「行つてみっぺ」とかね。

体育祭は？

亀井..体育祭は、球技大会と水泳と陸上とあつた。私は体育委員長をやつていたので、いろいろそれは盛り上がったつもりでいたんだけどね。

佐々木..球技大会では、救急車が、よく呼ばれたらしい。

亀井..体育祭での思い出は、芳賀先生つていたでしょ、あの人が、学年対抗リレーで、わざとバトンを落として、その後、全員抜いたんだよね。すごく早かった、その先生。

部活や学業の活躍は？

..ラグビーはソコソコ。テニスは軟式が

強かつたような気がする。フエンシング、柔道、剣道もソコソコ、あまりピーンと出たことはないかな。陸上の砲丸投げで、佐々木君が確か三位だった。..

佐々木..男澤は優秀だったよね、僕は普通でしたけど。

亀井..東北大には三人位入つた。高倉と門間と。

佐々木..僕らの2つ上が優秀で東北大に七人、入つたんじゃないの。

亀井..今は進学高になつているのでは？

佐々木..高校出て、大学卒業して地元に戻ろうと思つても、就職がなかなかないですね。

田舎へ帰る機会は？

男澤..昔の佐沼の街中は、シャッター通りですよ。あの賑わいはどこへ！、あの祭りはどこへ行つた！、ですね。長沼で行われる「東北フードマラソン」の立ち上げに関わつたけど、今年は春も秋も中止ですね。楽しみにしている人達、いっぱいいるよね。そんなのでちよこちよ佐沼に帰つています。

亀井..親がいるからね。でも泊まることはないですね。

佐々木..僕は、一昨年に親父が亡くなって、おふくろが一人なので毎週土日に帰つてい

ます。畑があるので、何も知らないでネット上で調べて、玉ねぎは育つたとか、ジャガイモがとれるかなとか。嫌いじゃないので、気分転換にもなる。

男澤..私はまだ親が二人いるので。長男なので本当は、墓守なんですけれど、果して帰れるかどうか。まあ、なるようになれという感じで。親孝行と思つて、なるべく帰るようにはしています。それから、私が帰るのは、「とめタウンネット」という、高校の後輩世代が中心になつてやつているNPOがあつて、NPOなので、メンバーに市外の人が一人欲しいという事で、「いいよ！」となり、やつています。たまたま仙台で近いので、なんか田舎に関わりたいな、カッコいいことを言えば「恩返し」したいなという気持ちもありますね。

今年は、総会はあるんですか？

事務局..コロナの状況もあるので、今月三十日の常任幹事会で、決める事になつていくようです。コロナの状況で、できない場合は、来年一緒に幹事をしていただく事になるでしょうか。例年ですと、総会の講演会の講師を、同期から人選していただくのですが。

全員..同窓会総会の講演会の講師！「誰がいいかなー！」。佐々木良泰君か、阿部智君に、お願いしようか！。

事務局..コロナの中、日程調整など大変ご面倒をおかけし、お集まりいただきありがとうございます。



界で活躍する在仙同窓生

コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ選手

鈴木 里佳さん（高60回生）



仙台市に本拠地を置く、コルジャ仙台ブラインドサッカークラブに所属する鈴木里佳さん。二〇一九年

の世界選抜戦で女子日本代表の主将デビューを果たした、ブラインドサッカー（注）の選手です。東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、パラスポーツに注目が集まる今、かつて取材をした縁がある、在仙同窓会副会長の渡辺祥子さん（フリーアナウンサー）が、話を聞きました。

全てに全力で！

渡辺…高校時代で印象に残っているのはどんな事でしょうか？

鈴木…先生から、「自分たちの学校だという自覚と誇りを持つ」と常に言われ、校歌に込められた意味なども教えてもらいました。今でも自慢の学校と胸を張って言える自分があります。

渡辺…これを頑張ったなあという思い出は

鈴木…毎日朝や放課後に課外学習があり、一生懸命勉強をしたことと、文化祭や球技大会もとても楽しかったという思い出があります。勉強も部活動も学校行事も、何にでも全力で取り組む姿勢が佐沼高校らしさであると思います。

自分を変えたい

渡辺…ブラインドサッカーとの出会いを教えてください。

鈴木…高校卒業後、筑波技術大学（聴覚・視覚障害者のための国立大学）に入学した際、お世話になった先輩から誘われて試合を見に行ったのがきっかけでした。

渡辺…どんな印象でしたか？

鈴木…その迫力に圧倒されました。見えないうちで、走って人をかわしたり、健常者のキーパーが守るゴールに何故ボールを入れることが出来るの？など、とにかく驚きと感激の連続でした。

渡辺…その後チームに入り、サポートスタッ



渡辺副会長（左）と鈴木里佳さん

フから後に選手に転向されたのですよね。その辺りのいきさつを教えてくださいませんか？

鈴木…私は弱視で、視力が低いながらもボールを認識できるので、ゴール裏でボールの位置を選手に知らせるガイド役をしていたのですが、徐々に視力も低下し、良いパフォーマンスが出来なくなってきた事と、大学卒業後仙台に戻り、今のチームの創設に関わり、その後女子日本代表が発足するなど、様々なタイミングが重なったことがありました。でも最終的に背中を押したのは、当時仕事で行き詰っていた中で、「自分を変えたい」との強い思いだったかも知れません。

自由になれる場所

渡辺…実際に選手としてプレーをしてみてもいいですか？

鈴木…ピッチ（コート）の中で走れるという感動がありました。見えない中でのプレーですから選手同士がぶつかれることもありまう。怖さは多少ありますが、ルール上での規定の範囲内で行われることです。私たちは街中で自由に走ることは出来ませんから、これはとても大きいことです。

渡辺…なるほど、そうであれば、もっと多くの視覚障害のある方々に、その感覚を得て欲しいですね。

鈴木…はい。工夫をすればサッカーが出来る、楽しめると言う事を知って欲しいと思います。見えなくても、キーパーや監督、



デモンストレーションでプレーする鈴木さん

うのも楽しいです。

渡辺…私も試合を拝見しましたが、人間には無限の可能性があるのだという、大きな世界を体験した感動がありました。

鈴木…ありがとうございます。多くの人に関心を持って頂きたいです。また、ブラインドサッカー選手は、男子は多いのですが、女子は少数で、ナショナルチームを編成するのがやっとの状態です。私も始めは自信がなく一歩を踏み出せませんでしたが、新たな世界が広がりました。ぜひチャレンジして欲しいです。

渡辺…ますますの活躍を応援しています。

鈴木…ありがとうございます。全てに全力の佐高精神で頑張ります。

（注）ブラインドサッカー…アイマスクをつけて行う五人制サッカー。フィールドプレーヤーとなる視覚障害者四名と、キーパーとなる健常者一名が同じフィールドでプレーし、鈴の入ったボールの音と、まわりの声を頼りにゴールを奪い合う。

ガイド役と連携をする、健常者と対等に近い動きも可能になります。チームの仲間と協力して、工夫をして、出来る事がどんどん増えていくと言

昭和二十六年当時を振り返る



私は昭和二十六年四月、登米郡吉田村（現在は米山町）吉田中学校から佐沼高校へ進学した。中古自転車を買ってもらい、迫川堤防の砂利道十二キロの通学、冬季になると自転車に泥が絡まり、パンクもして苦労した。よく通ったものだと思っている。

佐高創立五十周年記念 制定の新校歌は万葉集から

入学した昭和二十六年は、佐沼高校創立五十周年にあたり、これを記念して多くの事業が執り行われた。体育館兼講堂や校長宿舎、音楽室の建設、新校旗と新校歌の制定が進んでいた。

校歌制定の委員会は、作詞を万葉集研究の第一人者、そして歌人としても著名な釈道空こと折口信夫先生（国学院大学教授）に、本校の菊池一先生を介して依頼。菊池先生は折口信夫先生の愛弟子ということもあって、こころよく引き受けていただいたそうである。

万葉集の語彙を自在に取り込んでイメージした極めて格調高い新校歌が、昭和二十六年八月に届けられた。

作曲は、佐沼町出身の新進気鋭の作曲家で東京中央放送局管弦楽団の指揮者をされていた安倍盛氏に依頼。安倍氏は、著名な折口信夫氏の作詞ということで、その期待に応えようと、心魂を込めて作曲されたという。

菊池先生は、折口先生から『莊重にして格調高い歌詞は、古代の光景とロマンに思いを馳せて歌ってくれ』と言われたことを、私達生徒に教えてくれた。

校歌の第一節「ひんがしによき国ありて」は、万葉集の柿本人麻呂の代表作「ひんがしの野にかぎろひの立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ」から取ったとされ、「奈良の都から東方に、暮らし易い理想郷佐沼あり」としたのではないかと思われる。

元号が「平成」から「令和」に変わった。「令和」の出版は万葉集から。佐沼高校の校歌も万葉集を基にして作詞された。佐高生はもちろん、同窓生においても、この因縁に自信と誇りを持って令和時代をおおいに輝いて欲しい。

五十周年記念講演は岩淵大先輩

昭和二十六年十一月五日、新制高校になって初めての記念式典は、創立五十周年記念式典として、校舎増築落成、新校歌、新校旗の披露もかね、新築落成された講堂で盛大に挙行された。臍脂の地に金糸で刺繍した華麗な新校旗が、壇上に飾られ披露されたことは言うまでもない。

式典後、記念講演が行われた。講師は

旧制佐沼中学三回生で、政治評論家の岩淵辰雄大先輩である。講演の詳細内容は思い出せないが、後に太平洋戦史や佐沼高校百年史等を読んで偉大な大先輩であることを知った。

岩淵大先輩は、吉田村（現米山町）吉田出身で、旧制佐沼中学から早稲田大学、東京日日新聞や読売新聞記者を経て政治評論家となる。太平洋戦争末期の昭和二十年二月、皇居が米軍の空襲にあい、心配になった天皇陛下が戦局について聞きたいとして同月二十四日御前会議を開催。この会議に親しくしていた近衛公爵が出席することを聞きつけた岩淵先輩は、『天皇陛下に敗戦を訴えてくれ』と説得する。当時としては大変なことであるが、近衛公爵は『わかった』と決意する。ただ、天皇陛下に申し上げる場合、口頭ではなく、全て文書にして「上奏文」という形にしなければならぬ。岩淵君書いてくれと言われて書いたという。これが有名な「近衛上奏文」である。このことにより、岩淵先輩は吉田茂氏（後の総理大臣）とともに憲兵隊に逮捕された。

八月の終戦間近に釈放された岩淵先輩は、戦後直ぐ日本の再建に力を尽くした。一緒に拘留された吉田茂氏を政治家に送り込み総理に。吉田茂氏は、岩淵先輩を総理にと説得したが、これを頑なに断ったという。受けていたら、岩淵総理大臣が誕生したのだ。

更に仲間と憲法草案の作成に取り組み、その成案を後の内閣憲法草案作成委員会に提出している。内閣の草案は、GHQの大

きな手直しがあり、昭和二十一年十一月に新憲法として公布されたが、第一条の「天皇は日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は主権の存する国民の総意に基づく」という内容は、岩淵先輩の発案であり、手直しされずに通ったと言われている。

岩淵先輩は、権力に屈せず命をかけて戦争批判を続けた評論家として高く評価され、昭和四十年勲一等瑞宝章を受賞している。受賞の祝賀の申し入れを全て断り、佐沼高校主催の祝賀会だけに出席している。お礼の言葉として『私の人生は佐沼中学に始まり、学校で正しいことは信念を持って貫くことだと教えられた。これが私の人生観になった』と述べている。

卒業して六十六年

昭和二十六年十一月の佐沼高校創立五十周年記念式典後、数日間にわたって演劇・音楽発表会、バザー、明大マンドリンクラブの演奏会、大運動会等の行事が行われている。

私の高校三年間で、思い出が多いのは五十周年記念事業のあった一年生の時である。卒業して六十六年が過ぎた。卒業後一回も訪ねたことがない。どうなっているか、母校に立つて当時に思いを馳せてみたいと思っている。

（参考資料）出典 佐沼高校百年史、東京大学アメリカ太平洋研究第12号岩淵辰雄関連

前年総会は百十一名が参加

第三十六回佐沼高校在仙同窓会の総会・懇親会は令和元年九月七日（土）午後四時から青葉区上杉パレス宮城野において開催されました。総会当番幹事は三十回生が務め、百十一名が参加しました。総会に先立ち、医療法人慈裕会ゆうファミリークリニック院長の高橋裕一さん（三十回生）に、「健康で長生きするために今やっておくこと」をテーマに記念講演をしていただきました。懇親会は久々の再会に、先輩、後輩、同期生が同窓の絆を確かめ合い、思い出話しに花が咲かせていました。賑わいの中、再会を約束しお開きになりました。



第三十六回総会模様

佐沼高校同窓会 第二回懇親ゴルフコンペ開催

令和元年九月十日（火）杜の都ゴルフ倶楽部において、第二回佐沼高校同窓会懇親ゴルフコンペが開催されました。オール佐高同窓会の懇親をゴルフでも深めようとの機運が高まり、平成三十年に第一回が開催されました。第一回は総勢約百人が集いました。

第二回コンペも幅広い年齢層の同窓生が参加し、男性六十六人、女性六人、総勢は七十二人という大きなコンペとなりました。在仙同窓会からは十五人が参加しました。ゴルフ愛好のオール佐高同窓生が集い、懇親を深めて、ゴルフの楽しさを満喫した一日でした。

ダブルペリア方式での優勝は、ネット69・0（グロス76）でプレーした富士原猛さん（四十六回生）、在仙同窓会副会長の鮭名満さん（十九回生）は、グロス83で、第四位でした。

情報をお待ちしています

お知らせの同窓生の活動や、活躍している情報（同期会、趣味、サークル、イベント、著作等の活動等）がありましたら、ぜひ事務局へご連絡をお願いします。在仙同窓会事務局／（株）ホットハウス内（担当・岡本）

年会費のご入金をお願いします

この度の新型コロナの影響で、ご案内の通り在仙同窓会総会を中止せざるを得ないことになりました。

在仙同窓会の活動は、在仙同窓生の年会費で運営しております。

会員皆様へのご案内郵送料、広報誌ひろがりの制作と印刷代、その他用紙文具通信費などを年会費から支出しています。

このような折、誠に恐縮でございますが、一人二千円の年会費を今年度も納入いただきたくお願い申し上げます。

（在仙同窓会事務局）

◆編集後記◆

「新しい生活様式」の為でしょうか、季節をあまり感じない毎日です。いかがでしょう。青空の下、両手を広げ、お腹いっぱい、思い切り空気を吸いたい気分です。今年も「ひろがり」を発行できました。ご協力ありがとうございました。

「三密回避」でなく、「絆」と「ひろがり」をお届けします。

編集委員長（二十五回生）佐藤新光

HOT HOUSE ホットハウス

住み替えて始まる素敵生活！
不動産のことならホットハウスへ！

代表取締役 日下 敦（高第30回生）
仙台市青葉区本町1丁目5-131
TEL 022（2115）7787

株式会社大成ハウジング

代表取締役 佐々木良泰
（高第31回生）
仙台市若林区荒井五丁目十九番地の四
TEL 022（287）3326

ゆうファミリークリニック

院長 高橋裕一
（高第30回生）
宮城県宮城郡利府町利府字新館二一五
TEL 022（766）4141

㈱日専連ライフサービス

「豊かさをかたちに」

仙台市青葉区中央一・三・一
TEL 022（267）9222

